

平成 23 年 12 月 2 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

区分：その他

号機	2号機	
件名	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の定例試験中における停止について	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況)</p> <p>定期検査中の2号機において、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機*の定例試験を実施したところ、平成23年12月1日午後3時頃、当該発電機が定格運転状態から出力が低下し、自動停止しました。</p> <p>その後の目視点検において冷却水や燃料、潤滑油などの漏えいは確認されず、外観上の異常は認められませんでした。</p> <p>(安全性、外部への影響)</p> <p>現在、2号機は定期検査中で原子炉は停止しており、保安規定上要求される非常用発電設備2台が確保されていることから、プラントの安全性に問題はありません。</p> <p>なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>* 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 所内電源喪失時に所内へ電源を供給するためのディーゼルエンジン駆動の非常用発電機。 ディーゼル発電機は3台設置されており、今回のディーゼル発電機は高圧炉心スプレイ系に電源供給を行っている。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / その他設備	<損傷の程度> <input type="checkbox"/> 法令報告要 <input type="checkbox"/> 法令報告不要 <input checked="" type="checkbox"/> 調査・検討中
対応状況	目視点検において外観上異常は確認されておりませんが、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の出力が低下した原因について、今後、詳細に調査を行ってまいります。	